

新 た け と よ

192

行 日本共産党武豊町委員会
知多郡武豊町字瀬木25-1-2
電話(72)2400

国民の立場で真実伝える新聞 しんぶん 赤旗

日刊 月2900円
日曜版 月800円

生活相談としんぶん「赤旗」のお申し込みは
武豊町会議員 梶田 稔 電話3055
武豊町会議員 梶田 進 電話723055
武豊町会議員 梶田 進 電話738908
武豊町会議員 幸男 電話723177
字桐峯2 21小 3 2西 幸男 電話723177

6月議会報告

障害福祉サービスセンター設置・管理条例を制定 障害者自立支援法に基づく法定サービス事業を開始

武豊町の6月定例会議会は、6月2日から16日まで15日間の日程で開かれ、報告3件、補正予算2件、条例関係1件、議員提出議案1件および意見書6件が審議されました。

一般会計補正予算
(第2号)
補正額135万2千円

- ・主な事業を紹介します。
- ・障害者自立支援費給付金 288万9千円
- ・住宅用太陽光発電設置費補助金 50万円
- ・理科支援員等配置事業委託金 80万円
- ・武豊中学校東校舎耐震調査委託料 347万5千円
- ・全員賛成で可決

武豊町障害福祉サービスセンター設置・管理条例

障害者の日常生活及び社会生活を支援するため、現在の多賀授産所に設置する。

事業は、生活介護と就労支援事業を行う。
定員は35人。
開所時間は、午前9時から午後4時まで。
休所日は、土・日曜日、祝

日、12月29日から翌年1月3日まで。
指定管理者は、武豊町社会福祉協議会を予定。
平成22年4月1日施行
全員賛成で可決

武豊町議会議員の政治倫理に関する条例 日本共産党議員団・問題点を指摘しつつ、趣旨に賛成

新会派「情熱」が提出

今年4月、自民系会派「政和クラブ」から脱退して、新たに結成した「情熱」(代表・南賢治議員)が、提出したのが「武豊町議会議員の政治倫理に関する条例」。

当然なこと

第1条(目的)で、議員は町民の代表としてその人格と倫理の向上に努め、誠実かつ公正に職務を行う、と定めています。

拒否し、国民の募金と党費、機関紙収入などで活動している清潔な党として奮闘していきます。

自らエリを正して、住民要求実現にまい進することは、政治倫理条例があるのが無かることが、議員として当然のことです。

半田市条例の丸写しに批判集中

ところが、条文を読んでみると、半田市の条例を丸写しにし、「半田市」を「武豊町」に、漢数字を洋数字に置き換えただけで、1字1句違わない条文であることが判明。他の会派・議員といっさい話し合うこともなく、唐突に

提出したこと、議会運営の初歩的なルールをわきまえない皆さんの対応にも批判が集中しました。

議案質疑・委員会否決の後、条例案撤回を申し出

6月9日、条例案に対する議案質疑が行われ、多くの議員から批判的な意見・質疑が提起されました。

提案者は、条文を修正する意思も、いったん撤回して再提出する意思もないことを表明していました。

6月10日に開催された総務企画委員会で審議され、条例案は賛成少数で否決されました。

6月11日になって、「情熱」は、条例案を撤回すると議長あてに「撤回申請書」を提出。

条例案 賛成少数否決

6月16日、議会最終日、まが行われ、賛成少数で否決。続いて、条例案が討論・採決に付され、政和ク(6人)、公明党(2人)、町民ク(2人)、無党派(1人)が反対(3人)が賛成、賛成少数で条例案は、否決されました。

日本共産党議員団 意見書5件提出 他会派との共同提出1件

6月定例会議会では、6件の意見書が審議され、共同提出の1件が採択され、日本共産党議員団提出の5件は、不採択となりました。

- 全会派共同提出
「非核日本宣言」を求める意見書 全会一致採択
- 日本共産党議員団提出
「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書」 賛成少数不採択
- 「労働者派遣法の抜本改正を求める意見書」 賛成少数不採択
- 「核兵器廃絶」を求める意見書 賛成少数不採択
- 「生活保護の母子加算の復活を求める意見書」 賛成少数不採択
- 「消費税の増税は行わず、食料品の非課税を求める意見書」 賛成少数不採択

75歳以上の医療費無料化を 東京・日の出町の青木町長の施政方針

梶田稔議員は、代表質問(裏面参照)で、東京・日の出町の青木太郎町長の施政方針演説を紹介し、武豊町でも「75歳以上の医療費自己負担を助成して無料化する」ことを提案しました。

日の出町長の演説(要旨)を紹介します。
「お年寄りの方々は、幾多の風雪と厳しい試練を乗り越えて、暮らしを支え、家族を養い、家族のため、地域のため、そして町のために献身的な努力をされ、尽くしてこられたからこそ、躍進を続ける日の出町の今日が存在しているという確信に至りました。そこで私は、高齢者のご苦労にこたえるために、お年寄り

の将来の不安を和らげるための施策を実施することは大きな意義があると考え、ご案内のように昨年9月15日の日の出町敬老福祉大会において、「日の出町発長寿化対策日本一お年寄りに優しい町づくり宣言」を行い、3施策を実施することを約束した次第でございます。その第一に、75歳以上の方が負担する医療費について、個人負担分の全額を町が負担し無料にすること。」「日の出町は、財政力指数0.76、経常収支比率114.1%で、決して裕福な財政の町ではありません。武豊町での実施が待たれます。」